

## 森林インストラクター近畿連絡会和歌山会研修 参加報告

3月20～21日に開催された本年度の近畿連絡会の研修(和歌山会主催)に参加しましたので、簡単に報告します。

研修の内容は、2018年に約100年ぶりに日本国内の野生の桜として新種記載の論文が発表されたクマノザクラの植樹と観察、紀伊半島と四国山地に局所的に分布する日本固有種のトガサワラが自生する森の散策、また龍神村森林組合の木材市場の見学など、紀伊半島ならではのプログラムでした。

そして、配付資料も丁寧に作られており、参考になりました

日程:3/20 10:00～3/21 15:30

参加者:35名


滋賀会からの参加

小西民人

森上記子

高橋優(報告)

上萩寛(京都会兼)



2025年度

森林インストラクター近畿連絡会研修

於龍神村

2026  
3.20 | 金 |  
- 21 | 土 |

主催:和歌山県森林インストラクター会

研修配付資料

## 【1日目】

JR 和歌山駅に集合、マイクロバスで龍神村まで移動。山また山そして溪流の紀伊山地を2時間かけて龍神村に到着。標高600mを超える山の斜面を歩いて、クマノザクラの観察と植樹を実施。



2日間お世話になったバス



クマノザクラ(花柄は短い)



花の色はソメイヨシノより少し濃い



クマノザクラの苗木(3~4年)



和歌山会岡田会長



滋賀会森上さんと上萩さん

クマノザクラの植樹風景。和歌山会岡田会長の指導の下、参加者全員で50本以上の苗木を植えました。ヒノキ林を伐採した斜面に植樹。地中に残るヒノキの根や勝手に生えてきたカラスザンショの幼木などを取り除きながら植樹しました。





木材市場の広場



木材の説明（真砂組合長）

その後、田辺市の水上自然林に行き、トガサワラを主に観察しながら森歩き。



水上自然林出発点



トガサワラ葉



球果



トガサワラ 樹形（枝が横に張り出す）



トガサワラ の 大木

トガサワラ、ツガ、モミ 3種の葉のサンプルを和歌山会が準備し参加者に配付。



トガサワラ

ツガ

モミ

水上自然林にはシイ・カシ類、タブ、ヤブニッケイ、カゴノキ、イヌガシ、バリバリノキなどのクスノキ科やソヨゴ、ユズリハ、ヤブツバキなど常緑樹が豊かな森でした。ここで和歌山会が準備してお昼の弁当をいただき、研修の最後となりました。2時間以上かけて和歌山駅までバス移動し解散。

和歌山会のみなさん、素晴らしい研修を開いていただきありがとうございました。